

各部会報告

【館長部会】

東京都公民館連絡協議会 副会長

屋敷 元信（小平市中央公民館長）

2月14日に小平市において、第2回館長部会を開催いたしました。町田市、小金井市、東村山市、国立市、福生市、東大和市の館長及び館長の代理の方に出席いただき、研修会を実施しました。講師として日本体育大学の上田幸夫氏（社会教育学教授）をお招きし、「今、都市における公民館に求められる役割」をテーマに講演会を開催しました。主な内容といたしましては、東日本大震災において公民館が担った役割と、都市における公民館に求められる役割に共通するものがあり、それは人と人を繋げるということと、公民館活動に一人でも多くの市民の参加を図ること、そして、地域課題に取り組み、応えていくことが公民館の役割として求められているとのことでした。

出席者からは、地域課題に取り組むと受講者が少ない傾向にあるがどうしたらよいかといった質問に対しては、地域課題をテーマに講座を開設する場合には、公民館だけで講座を考えるのではなく、庁内で同様の課題を抱えている担当課と連携して講座を開設することが重要であるとのことでした。公民館だけで検討するのではなく、庁内の担当課と連携して講座を組み立てることで、公民館の存在価値を高めていくことができるとのことでした。

さて、館長部会の1年を振り返ってみますと、公民館的な機能は、超高齢社会という社会環境の変化に対応するものとして、今後も必要なものであるとの認識は、各市とも共通に持っています。しかし、一方で公民館は特定の市民（市民の3割）が利用する施設であり、他の市民（市民の7割）にとっては、日常生活に関わりのない施設になっている現実もあります。そのことが、厳しい財政状況の中で、施設使用料の有料化や、施設の統廃合の検討対象となる背景

↓平成24年度最後の役員会のようす



にあるように感じます。

行財政改革が進む中で、公民館の存在価値をいかに高めていくか、多くの市民にとって役に立ち、在ってよかったと言ってもらえる公民館をどう構築していくか、大きな課題であると考えております。

【委員部会】

委員部会長

山家悠紀夫（国立市公運審委員長）

委員部会では、2月17日（日）午後、国立市公民館で「厳しい財政状況の中での公民館運営」と題しての第3回研修会を開きました。

最初に、公民館を有料化した東村山市、町田市、無料原則を維持している国立市、3市の元公運審委員長さんから、それぞれの市の状況についてのお話を伺い、コーディネーターの荒井文昭先生（首都大学東京・教授）に問題点をまとめていただきました。続いて、参加者からの質疑、意見発表、3市以外の各市の公民館が当面している状況等についての報告などがありました。

参加は、加盟各市の公運審委員のほか、公民館職員、一般市民を合わせて約50人。委員部会研修で財政問題を取り上げるのは初めてということもあり、好評で、公運審委員としてはさらに財政問題につき勉強するべき、という意見が多数出されました。

年間3回の研修会、委員相互の情報交換

この研修会を含め、2012年度の委員部会は、研修会を年間で3回開きました。

第1回は7月15日、テーマと講師は「改めて公民館と公民館運営審議会の意義を考える」(駒沢大学・萩原建次郎教授)、第2回は10月6日、テーマと講師は「地域社会の変化とこれからの公民館の役割を考える」(西東京市田無公民館・小笠原東生館長)でした。参加人数は、ともに約50人。第3回も含めて、公民館や公運審の直面している現実問題をテーマとして取り上げたのが2012年度の研修会の特徴です。

委員部会では、これら研修会の企画、実施のほか、毎月1回、年間で合計12回の委員部会を開き、委員相互の情報交換を中心に、公民館、公運審をめぐる様々な問題についての意見交換を行いました。各市の公民館、公運審が実にさまざまな困難な問題を抱えていることがよくわかり、対応策も同時に考えることができ、有意義な1年でした。

2013年度の委員部会も、年3回の研修会の開催、委員相互の活発な情報交換・意見交換を課題として活動していく予定です。



↑ 盛況だった第3回研修会(委員部会)

都公連定期総会

- 日時 4月24日(水) 午後2時～
- 会場 小金井市民交流センター
(武蔵小金井駅南口正面)
- 代議員制 各市代議員は必ず参加を。
(代議員以外の方も傍聴できます)

【職員部会】

職員部会副部会長

小柳 一博(国分寺市立恋ヶ窪公民館)

今年度の職員部会は「魅力ある講座づくり」をテーマに、5月から11月まで各市の事例報告を基に質疑応答や情報交換を行いました。地域住民のニーズを把握し、抱える様々な課題解決への創意工夫と講座への思いが強く伝わってくるものでした。

12月には、谷口郁子さん(月刊社会教育元編集長)をお迎えしての公開勉強会を開催し、講座づくりのノウハウをレクチャーいただきました。

1月、2月にはワークショップとして仮想の講座づくりをいたしました。3月には一年の活動記録として小冊子をまとめることができました。

いま公民館を取り巻く環境は厳しく、大きな岐路に立たされています。このような状況下、地域における社会教育施設である公民館のあり方を見直すとともに、公民館職員として一人ひとりの資質向上が求められています。

今回職員部会に参加し、他市の取り組みや情報交換を得られたことは、大変貴重な時間であったと思います。今後も職員の学びと交流ができる場として、職員部会のさらなる充実と発展を願っております。

最後にコーディネーターとして毎回ご助言をいただきました、東京農工大学大学院の岩松真紀さん、都公連研修担当の小金井市の長堀雅春さん、また、部会長としてご苦勞をいただきました日野市の中島和彦さんをはじめ、部会に関わった皆様方には、一年間どうもありがとうございました。



職員部会一年間のまとめ冊子